

第2回倉敷市総合計画審議会 第1分科会議事録（要旨）

会議名称		第2回 倉敷市総合計画審議会 第1分科会（教育・子育て）
開催日時		令和2年1月20日(月) 10:00～12:00
開催場所		倉敷市役所7階701会議室
出席者 ※敬称略	審議会 委員	小川 洋一，小倉 智美，佐藤 均，竹内 京子，藤原 薫子， 前田 勝則，横溝 誠子
	市職員	企画財政部参事，総合計画策定研究班員ほか担当部署職員，事務局
傍聴者	傍聴者	なし
会議次第		1 開会 2 現況説明 3 意見交換 4 その他 5 閉会

1. 開会

2. 現況説明

(事務局が資料を説明)

3. 意見交換

分科会長	今までの説明で、質問等ないか。
委員	この分科会は「子育て、教育」で、子どもの貧困の部分が欠けていると思うが、他のところでカバーされるのか。
委員	「現状と課題」65ページの(第4分科会)にある。気になって付箋していた。
委員	第4分科会になるのか。
市	貧困は、資料では第4分科会「保健・医療・福祉」に入っているが、この、第1分科会「教育・子育て」でも検討していただきたい。貧困にある子どもたちが、適正な教育を受けられるかと、貧困の話とは関連する部分もあると思う。
委員	学習支援の分野なら、教育の延長線上で市もサポートを始めているので、家庭訪問などしながら、どう対応していくかだとか思ったが。
委員	どうして第1分科会でないのかと気になった。
分科会長	きれいに分けてしまうわけにはいかない。
委員	子どもの貧困については、第1分科会も、意見を出せばいいと思う。
委員	貧困問題の65ページでは、日本全国の子どもの貧困率13.9%で、7人に1人が貧困状態にあるということだが、倉敷も同じような状況なのか。
市	今日は、担当者がいないため、倉敷市の状況を確認しておく。
委員	県のアンケート結果が基だと思うが、倉敷市独自のデータはないか。
委員	深刻な状況なのか、いまひとつピンとこなかったもので、質問した。
委員	貧困も、目に見えるものだけではない。タブレットやスマホを持っていても、支払いができないなどの部分も、子どもの貧困ということだ。
委員	どこからが貧困かわからない。近所で、両親はおしゃれな新しい服を着ているが、小学校高学年の女の子は毎日、同じジャージ。その子がそれを好んで着ているのか、数字では表せないのが難しい。
分科会長	地域や家庭でいろいろあり、かなり深刻な問題もあるが、どこまで踏み込めるのか。また、人口はもう少し増加してから減少する推計だったと思ったが。
市	平成27年の人口推計は、まだ人口が右肩上がりの時で、大規模住宅団地ができるなど、地区ごとの増加率、移動率などを計算し、令和元年ぐらいまで人口が増えるということだった。結局、平成28年で人口のピークを迎え、さらに災害があり、減少している。今回は、今後も減少

	するだろうという人口推計だ。
委員	<p>保育所の定員の話で、幼稚園で預かり保育をしている園もある。午後、何か用事のある時などに預かってもらえて助かる。また、真備地区6園のうち4園のPTA会長は、仕事をしながら幼稚園の預かり保育を利用している。真備は同居率が高いので祖父母がお迎えなどカバーできることもあるが、地域によって保育所が定員オーバーの場合、幼稚園の預かり保育という選択肢もあるのではないか。待機児童としてではなくて、幼稚園の延長保育のような形で、仕事もできる。</p> <p>ただ、幼稚園は保護者参加の行事が多すぎて、PTAの親の負担が大きい。幼稚園のあり方を考えてほしい。</p>
委員	何かの手段が必要だと思う。
委員	保護者の負担が減れば、15時までの仕事も多く、預かり保育を利用して、働きながら子育てできる。幼稚園のあり方を考えて、先生や、地域の方の手助けがあってもっと子育てしやすければ、もう一人産まれてもいいということを感じる。
委員	<p>保育園の保護者会もあるが、先生に頼りきりだ。同じ年齢の子どもが通う保育園と幼稚園で、親の負担がこんなに違うというのはよく感じる。幼稚園のお弁当も、給食化を考えてという意見もあったが、先生に聞くと、文部科学省では食育は教育で、お弁当だという。保護者行事など、お弁当持参というのは、幼稚園に通わせている親にとって、少し負担はあると思う。</p>
委員	<p>子どもの貧困と関係あるかわからないが、家庭の事情で、家で十分、食がとれてない子どもたちがいて、給食で栄養バランスを補える部分もある。幼稚園行事については、日本の伝統文化など、ふだん体験できない経験をする機会でもある。</p> <p>預ける側である、親の負担感という観点だけでなく、当事者の子どもの視点を忘れてはいけない。</p>
分科会長	どの辺りで折り合えるかが難しい。地域の方の協力も大きいと思う。
委員	地域行事では、担い手の高齢化もある。
委員	地域で高齢化が進み、若い人が入っていけない。
分科会長	認定こども園への移行について、今の状況はどうか。
市	<p>地域の状況に応じて進めている。子どもの就園が低年齢化して増えている状況で、それぞれのニーズにあわせて対応している。昨年10月の幼保無償化もあり、無償で預けられ、給食もある保育園など、非常に希望が増えているところもある。</p> <p>また、幼稚園からの移行にあたっては、給食施設の問題で、すぐに認定こども園に変更できるわけではない。</p>
分科会長	<p>認定こども園に通園していない親子が、遊びに来たいときに来られるというのをこども園の中に開設しているが、評判がよい。</p> <p>ただ、そこに来られる環境の方ばかりでもないので、そういうことがもっと広がってほしいと思う。</p>

委員	「現状と課題」6 ページの中学校の女子制服のストラックスについて、学校と話したことがあるが、セーラー服だと、制服そのものから変更する必要がある。制服を変えるとなると、金額面とか、どう変えるとかで、今から話をしても 10 年後に変えられるかどうか、市の方針で決めていかないと難しいのでは。
	また、水着についても、女性の心をもつ男子生徒は、水泳の授業がとても嫌、胸がふくらんでいるわけではないが、海パンだけには抵抗があると聞いた。今、日焼け止め対策でクリームを塗っているが、水質汚染の心配もあり、ラッシュガード着用を市が認めてくれたら、どちらの対応にもつながると思う。
委員	すごく賛成だ。
委員	10 年後の倉敷市で、学校の制服は必要と考えているのか。
市	全国では制服のない中学校もある。各学校の制服は学校長の判断で、市内の中学校はすべて制服で、セーラー服は児島地区を中心に多い。制服をなくすかどうか、制服の町である倉敷では声高には言えない。
委員	反対というわけではない。倉敷は、児島、制服の町でやめたら大変。
委員	今、制服の選択制は、現状はどんな状況か。
市	市内では、いろんな学校で取組が進んでいる。小学校は私服も多いので表面化しにくく、中学校へ、小学校から上がってくると。中学校では、どうしても男子、女子で全く格好が変わるということで、実際に性的マイノリティーの子が数年後、入学予定ということで、対応を検討という例も聞いている。
委員	制服移行期間についてのマニュアルなど、何年かけてこういう手順をとることを市が示していければいい。そして保護者会などで納得をいただくとか。
委員	「現状と課題」10 ページの学校施設に関連して、男子はトイレで個室を利用するとからかわれたりするので、性的少数者を含め男子生徒は使いにくい。個室化はどうか。
委員	そうすると学校のトイレだけではなく全体の話で、市内の観光施設などでも、公園でもそういうのがあればいい。
委員	家庭のトイレは、今、非常に快適になっていて、数十年前に建てられた学校とでは、あまりにも差があり過ぎるため、冷やかしの問題にもつながっていると聞く。最近、建て直された学校は、本当に素晴らしい。
委員	トイレが汚すぎて、1 日トイレを我慢する子もいるそうだ。午後からは勉強なんか頭に入らない、トイレのことを思うだけ。先生に言って、職員用のトイレを使えば、ちょっとは違うかと思うけど、でも、そんなにきれいでもない。
委員	学校のトイレ全部を変える費用は大変だから、部分的にでも変更できないか。
委員	一区画ずつでも。
委員	個室トイレの場所も、いろいろな所にあつたらいいと思う。たとえ

	ば、プールサイドのトイレとか。そういう場所がいっぱいあって目立たないから恥ずかしくないとかも。そういう配慮があったらいいと思う。
分科会長	なかなか一度にはいかないと思うが、計画としてはどれぐらいで進んでいくのか。学校の建て替えになるのか。
市	直接の担当課ではないが、聞いている話では、学校のトイレの修繕は、1ヶ所1,000万円、3階建て校舎だと3,000万円かかり、単純に、1校1億円くらいになるとか。校舎全体の老朽化もあり、費用対効果で修繕は容易ではない。チラシでは、家庭なら20~30万で直るなどあるが、学校では、配管からすべてで、額が違う。違う場所にトイレを作ることも1案だが、場所確保の問題もある。
委員	ホームセンターやスーパーのトイレ改装では、和式を洋式化するのに、角を利用して同じ個室でできたりしているので、安い方法を考えればいい。男子トイレは場所が限られているから難しいが、小中学校は男子トイレも女子トイレも同じ広さなので、何千万もかけなくてもできる方法も何かあるのではないかな。
委員	入札にかけたら、より安くなるのではないかな。
委員	大規模改装じゃなくて、リフォーム程度でいいので。
委員	それくらい喫緊の課題ということ。
委員	トイレは大事だ。
委員	トイレをきれいに清掃しておくことも必要。日本のトイレはすごくきれいなので、学校でもメンテナンスや清掃なども配慮すれば違う。
分科会長	では「現状と課題」7,8ページについては。
委員	ファミリーサポートという制度があって、預けたい人と預かってくれる人をマッチングして、短時間子どもを預けられる。1時間700円とかで。万が一、何かあっても保険で対応できる。
委員	ママ友同士や隣の子を預かるのとは違い、転んでけがをしたとかでも、ファミサポを通してると、補償がある。
委員	預かる人が、需要に対して半分くらいしかいない。
委員	この分科会の委員になったので、子育て世代のお母さん方に話を聞き、それに近い事例を聞いた。ママ友同士で預けあっていて、預かった子どもが、大人しい子と活発な子で違いすぎて、トラブルになった。結局、大人しい子の方の親が児童相談所に連絡して、活発な子どもが保護され、親同士、仲違いした話があった。 どうして児童相談所が保護という対応になったのかわからないが、その件で、活発な子どもの親が相談した、市の子ども相談センターでは、全く違う、とてもよい対応をしてくれ、ギャップが大きかったそうだ。対応はなぜ違うのか。
委員	児童相談所の話で、中核市で独自に児童相談所をという話があるが、倉敷市はどう考えているのか。倉敷児童相談所は県設置で、連携している市の子ども相談センターはすごく頑張っていて、児童相談所設置も難しくないと思っているが。

市	中核市なのでということだが、市は市の役割を担っており、担当者が説明する。
市	<p>倉敷市で児童相談所をということだが、市としては、今のところ設置の予定はない。倉敷市では子ども相談センターが子どもの虐待全般を扱っている。</p> <p>事案のレベルが5段階あるうち、レベル1～2は市が対応する。見守りやサービス・情報提供など、家庭で少しでも安心、安全に子どもが暮らせるようにというスタンス。レベル3以上が児童相談所で、経験とスキルをもつ専門の児童福祉士が対応する。家庭に介入すべきケースや、施設入所なども含め、お互いに役割分担をして対応している。倉敷市が児童相談所も設置ということになると、見守りなどの寄り添う役割は誰がするのかということになると思う。</p> <p>相談件数が全国で増加する中、倉敷市の件数が横ばいなのは、妊娠中から、各機関と連携して、市の役割で事前に予防し常態化を防いでいるからと思っている。虐待死は0歳児が一番多く、この辺りの予防の役割は市でなければできないと思うのでそういう形でしている。</p>
委員	市のセンターがあるのは初めて聞いた。もう少しアピールしては。
委員	妊娠期から支援する、すくすくというセンターも保健所や支所にある。
委員	先ほどのようなトラブルを相談することができるか。
市	できるので、HPなども見てほしい。
委員	この事例は、その親御さんがまず市に連絡すれば、大きなトラブルにならなかったのでは。こういう情報が子育て世代にもう少しアピールできていたらいい。
委員	パンフレット等でアピールしたら、こういう軽いトラブルは、いきなり児童相談所でなく、まず市に相談しようという気持ちになると思う。
委員	健診などの時に、もし困ったら、もしご近所の子どもさんのことで何か思ったら、まずはここに連絡くださいという用紙を配るなどしては。
委員	最近もらったが、数が多く、妊娠期の資料か出産後の資料かわかりにくい。
市	今年度、新しくパンフレットを作ったので少しずつでも発信したい。
委員	子育て支援策の中で、保育所待機児童の地域的な偏在とあわせ、放課後児童クラブについても、市中心部では、今の設置数では足りないと思う。設置場所の大前提は学校の敷地内か余裕教室だが、児童数が増えて、学校内で空きスペースを探すのはナンセンス。運営委員会方式についても岡山市は方向転換したようだ。倉敷市として、児童クラブについて方針をもう少し明確にすべきでは。
委員	9ページの国際関係で、倉敷市として、市内在住の外国人の方の考えを知るため、アンケート調査などを行っているかということに関心がある。昨年5月29日の日経新聞で、函館市の多文化共生に関する取組が紹介されていた。アンケート調査を行って、外国人の方は市民との交流

	を求めているという結果から、外国人と日本人の交流機会をつくることや、学校へ行って外国文化の紹介をしてもらったり、さらに一緒にまちづくりも検討などしたりという事例だった。市民の外国人の声を聞くところから始まっていて、倉敷市でもアンケートを行ってどうか。岡山県では、県民の70人に1人が外国人という状況だ。
委員	近くにある市公民館では、外国の方に月2回日常会話を教える会がある。今はベトナムの人が7～8割だが、難しい文法ではなく、日常会話からで、餅つきや料理教室など文化交流も行っている。2月には学習成果の発表会があるが、自分の国や働くことにすごく誇りをもっているなど、彼らから学ぶことは多い。
委員	私の周りもベトナムの人が多いが、学ぶ意欲や勤労意欲が高く、他国と違う。日本中のベトナム出身の人とネットワークがあり、お正月休みなど、他地域の友人のところに遊びにいったりもしている。倉敷がいい街だと思ってもらえれば、倉敷市の発信もしてもらえるのではないかと。国際結婚して子育てしているお母さんたちは、言葉が通じにくいということでPTA免除になっていたりするが、ちょっと面倒でも入っていける環境を作ってあげる方がよい。結果、知り合いがいないので参観日に行きにくいとか、よけいにネットワークに入りづらくなっている。いい方法が簡単に見つけれない。
委員	アンケートをすればいい。多文化共生は、今、どこでも重点的に取り組んでいるが、日本在住の外国人が、一番求めているのは、日本の方々との交流ということなので、そういう機会をつくったらいい。
委員	そうすれば、こちらにも刺激を受けるのでWin-Winだ。
委員	市内で日本語を教える施設や教室は、多くあるのか。
市	国際交流をやっているし、教室などはある。
委員	共生社会で、相手の文化を知るとか、言葉を学ぶということは大事。会社でも、だんだん外国の方が入ってくることで、宗教やお祈りの時間とか、食事など気づくことが多い。知識がないだけでトラブルになることもあるので知ることだ。
委員	これから、労働力の補充という意味もあるが、日本に住む外国人の方は、倉敷でも確実に増えると思う。中国や韓国、フィリピン、それからベトナムの方が増えていて、日本で技術を習得して帰ろうという意欲の方が多く思える。
分科会長	留学生の評判もいい。近隣の市では、いろいろな外国から来られている方と日本人が一緒になってパーティーなどもしている。 「現状と課題」11ページは、どの教育機関もそうだと思うが、子ども全員に端末があっても、一気に使うことは不可能だということで、難しい。
委員	タブレットとパソコンは違い、タブレットは使えてもパソコンを使えない世代になっている。今パソコンが使えていないと、恐らく社会に出ると大変では。
分科会長	既に大学生がその世代になっていて、パソコンになじんでいない。ス

		マホで何でも作っちゃうみたいで、就活でちょっと困る。
委 員		スマホでソフト開発もできるのか。パソコンがないとできない気がするが。
委 員		プログラミングの授業も始まるし、タブレットとなるとまた別だ。
委 員		トラブルもある。中学生の子で、スマホを持っている子と持っていない子の差もある。家庭環境や、持たさないことが、トラブルに巻き込まれないからいいという親の考えもあると思うが、反対に、スマホを持っていない子をのけたグループができ、そのグループにいる子の悪口は書けないから、持っていない子の悪口が横行している状態もある。だから、持つことを前提とした教育を。
委 員		災害時の連絡手段に、国でもスマホなどを勧めようとしている中で、学校でも、持って来ていいが、朝、先生が預かるなどではいけないか。
委 員		真備は災害後のスクールバス通学の連絡などでみんな持たせている。学校に来たら電源を切る、鳴った場合は没収というルール。最初は切り忘れて鳴る子がいたが、意識づけできればきちんとできる。ルールを徹底すれば問題ないのでは。
委 員		学校内と家の中でのルールづくりが大切だ。
委 員		良い悪いではなくて、持っている場合、どういうふうに対応するかというのを勉強する時代だ。持たせないではない。
委 員		持つことを前提とした指導と書いてあるが、持つ人の意識が一番大切だと思う。人権、モラル意識というか。小中学校のスマホ教室はしているのか。
委 員		家庭だと、自分の家庭のルールであって、よその家とは違うので、学校で指導をする時間をとってくれればよい。
市		教育では、情報教育で必ずセキュリティのことは教えている。ただ、現段階では中学3年生だ。持つ子は中1や小学校から持っている。モラルなどは、学校が事例を挙げると誰のこと、となるので、大手通信会社等の協力で、どこの学校も早い時期に、授業やP T Aの研修等で行っていると思う。
委 員		昔は高校生で持たせたから、中3でよかったが、今は、中学生になるから持たせる。部活の連絡はスマホのLINEだ。中学で部活を始めて、スマホを持ってなければ、その子だけ親に電話ということになる。小学5, 6年生での勉強が必要。
市		便利で有効な部分を考えれば、逆に、持たせてほしいという時代が来るかも。今は、保護者にはプリントでお知らせするのが当たり前だが、渡してない家庭もたくさんある。メールを保護者の携帯に直接、送る場合も出てくるのでは。
分 科 会 長		ある先生は、「Face to Face が大事」というところから指導されていた。たとえば、隣の席でもメール、ではなくて、まず対面からだ。結局、使うのは人間で、機械に使われないようにしないと。アナログ世代には、生まれたときから周りにあるという人の感覚は想像がつかない。

委 員	今、高校生などは、ネットゲームの世界で一緒にグループで遊んだ人が、大阪にいるから気軽に会いに行ってくる。だから、大阪であった事件もそれが発端かも。トラブルを防ぐために、小学校の時から、そういう人と会ったら危ないこともあるかもしれないと教えないといけない。中学・高校で簡単に行けてしまう年齢になる前に、危険なことを教える必要があるのでは。
委 員	便利さは大きいですが、デメリット、リスクの部分もちゃんと教育することだ。悪口を書くほうは愉快かもしれないが、書かれた者の立場になる、あなたがもし書かれたらどう思うかという原始的なことをちゃんと理解できるように。とんでもないこと、身に覚えのないことも、一度書かれると消えないので。
委 員	今の時代、怖いのが、できること、やっていいことが一緒になってしまっていることだ。できるけど、やってはいけないことが多いと思う。
委 員	先ほどの Face to Face が大事という話で、メールのやりとりで、結構失敗することがある。そのときの感情で、すぐ返事を返すと失敗するので、非常によくない。そういうところも教えたらいいと思う。
委 員	すぐに送らず、一度とどまることだ。
委 員	言葉のニュアンスは人によって違い、意外にきついと受け取られたりする。
委 員	倉敷市は、コンピューターは、進んでいるほうだということだが、現状はそのままか。
市	全国平均に比べれば、環境整備は進んでいる。文科省は9月頃、3人に1台を目指すと言っていたが、年始、いきなり1人1台が出てきた。機械だけ届いても、ソフトをどうするのかというのが、追い付いていない状態。大きい学校は子ども1,000人。1,000台のタブレットを管理するのは、学校も大変だ。進んでいる都市部や、私立の学校では、1人1台を購入させている。購入だと自分で管理させるので、その辺りも違う。授業内容も、ノートに書くことで自分にノートが残るが、コンピューターで勉強すると、どう残すのかが難しい。全部プリントアウトして、ファイルさせるのは、紙がどんどん増えて、環境問題、ペーパーレスにも逆行するなど、いろいろ課題がある。
委 員	12ページは、司書や学芸員は今後、採用しないという前提での話か。
委 員	10年以上正規職員の採用が見送られる理由は。今後は非正規のみか。
委 員	図書館の運営も指定管理しているのか。
委 員	図書館は指定管理ではない。図書館や博物館は、指定管理者制度にはそぐわないと思うが、全国では、図書館などの指定管理で成功した例などはあるので、研究は必要と思う。職員採用は人事面なので、すぐには言えないだろうが、学校でも司書の先生は夕方4時で帰り、相談したい時に先生がいないと聞いていて、大事な課題だと思う。
市	中央図書館と美術館は老朽化も激しく、いずれかの時点で、移転・更新、建て替え、複合化も含めて検討の必要がある。施設管理の面でも、

	老朽化した施設はまとめて1つにすれば、維持費が2分の1になる。
分科会長	では最後に、「現状と課題」13ページについてはどうか。
委員	こういう講演会などは、各学校何人などの参加依頼で行くことが多く、参加したい人ではないのが現状。いろいろ行って、すごくいい話も聞いて勉強になった反面、子どもが小さい時に聞いたかった気持ちもあるので、子育て中の人も、参加しやすい環境を。例えばもっと小さい単位、子どもも気軽に預けられる環境で講演会を開けば、幼稚園のお母さんなんかも参加しやすいのではないか。
市	みんなが集まって講演を聞く形にこだわらず、IT化で子どもが1人1台タブレット持っているなら、タブレット配信という流れもできてくるのかなと思う。
委員	どこかの会場のサテライトという形もあっていいのでは。
委員	小学校の体育館で、保護者総会の後にその画像を映したりとか、幼稚園などは特に、参観日の後にお母さんが見られたりとか。
市	また、タブレットの使い方としては、学校を休んだ子や入院している子が、授業をそのまま受けられるというのも、今後進んでいくのでは。せっかくのIT技術をどう活用していくかは、今後10年でだいぶ進むだろうとは思いますが。
委員	教育委員会ですしている親育ちの活動は、今後どうしていくのか。
委員	P T Aの会議も効率化を図らないと役員を引き受けてもらえない時代で、学年懇談も、今回は修学旅行の話、次は人権研修、また運動会の後のスライドを見る、など親育ちを取り入れるタイミングがない。P T Aの役員会議の後に30分と言われても、もう夜9時なのにという状況。P T Aも働き方改革をしていて、年16回集まっていたのを10回にみたいな取組をしている中で、なかなか難しい。
委員	ここにはない内容は、もう、今後の総合計画に入らないのか。
市	他にも必要な内容が出てくると思うので、ご意見をいただきたい。
委員	今日は、教育、子育てで、もちろん保護者も大事だが、教育を受ける子どものことを決して忘れず、ここが最重要だ、と非常にいいことを聞かせていただいた。
委員	総合計画の冊子で、現行のマトリックス図がすごく気になっていて、たとえば、今度はSDGsの1から17とかに合わせて作成したら、たとえば子どもの貧困は、子育てにも入る、福祉にも入ると、あちこちに関係があり、結果的に全部の項目が埋まるような作り方をしてもらったらいと思う。

4. その他

次回の日程について

5. 閉会